

県政報告

2022

No.4
March



県土整備常任委員会視察

古賀3工区



須恵・粕屋2工区



●令和4年1月13日～14日、私が副委員長をつとめます県土整備常任委員会の管内視察が実施されました。県内に11か所ある県土事務所の中から福岡県土事務所と那珂県土事務所を訪問し地元市町長からそれぞれの自治体が抱える諸課題について要望を受けました。いただいたご要望をしっかりと県へと伝え、今後の県土行政に役立ててまいります。

●県土事務所の視察後、主要地方道の筑紫野古賀線古賀3工区を視察、平成24年から事業継続している県道の4車線化の進捗状況を確認いたしました。この古賀3工区は古賀市の青柳地区にあり、九州自動車道の下を通る非常に交通量が多い県道であります。県民の皆様の利便性を向上させるためにも令和4年度内の完成を目指してまいります。

●主要地方道の筑紫野古賀線にはもう一つ重要な須恵・粕屋2工区門松交差点立体交差事業があります。粕屋警察署前から大間池の上を通って須恵へと繋げることにより、慢性的に発生している交通渋滞を解消する事業です。当日は大間池の上から事業進捗を確認いたしました。やっと完成の目途が立ってまいりましたが、今後は既存の県道との接合部が重要な事業となります。完成は令和4年度内の予定です。

県土整備常任委員会 副委員長

<所属> ●国際化・多文化共生社会調査特別委員会

●福岡県環境審議会

福岡県議会議員

古賀市

よし だ
吉田けんいちろう



移動前の特別支援学校通学バス停留所

移動後の特別支援学校通学バス停留所
(市役所駐車場)

谷山川の浸淫



薦野福岡線道路拡幅事業

コロナウイルス感染症の流行から3年、まだまだその混乱が取まらない状況の中、皆様方におかれましては様々な苦勞をされておられると存じます。あわせて福岡県の新型コロナウイルスまん延防止対策にご協力賜り心から感謝申し上げます。

「多文化共生社会」

さて、令和3年12月議会、一般質問におきまして「多文化共生社会」について質問いたしました。現在、在留外国人、技能実習生の増加に伴い日本語教室の運営に向けての取り組みがなされていますが、自治体だけでは対応が困難な日本語を教える人材確保や育成、関係者による協働などに対する福岡県の取り組みを指摘いたしました。

「地域コミュニティの持続可能性」

そして、令和4年2月議会、一般質問におきましては「地域コミュニティの持続可能性」について服部知事へ質しました。これまで、市町村の地域コミュニティは様々な地域の共助を支えながら、環境美化や地域行事の企画運営などを行っており、今後、高齢者の見守りや災害時の要援護者の避難支援など新しい分野での活動も期待されています。しかし、高齢化や若年層の自治体加入の低下によりその担い手が不足しており、多くの市町村が独自の対応に苦慮していることを指摘し、デジタル技術の活用や役員が持つ仕事量の削減などによる負担軽減を提案いたしました。

「古賀市での取り組み」

古賀市におきましては、古賀特別支援学校の保護者の方からご相談があり、福岡県と古賀市の協力をいただき通学バスの停留所を道路に面した市役所前から市役所駐車場の中へと変更することができました。

また、谷山行政区と農区から要望を受けていました谷山川の浚渫事業が完了、地元から要望を受けていました県道薦野福岡線の拡幅事業に伴う迂回道路の準備も進んでいます。これにより老朽化し、幅が4.2mしかない薦野橋の架け替えを実施し、幅10m、歩道付き全長370mの県道が完成します。

本当に沢山の方々にご尽力やご配慮をいただいております、改めて感謝申し上げます。

これからも精一杯精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。



公式 HP



Facebook



MAP